



《今月の笑顔》

株式会社 戸田工務店

とだことは
戸田琴華さん



税を考える週間協賛事業「八王子いちよう祭りに出店」



タックスコーナー

「その疑問、チャットボットに相談しませんか？」



「令和4年度（2022年度）納税表彰式」が開催されました
受彰おめでとうございます！



横浜八景島シーパラダイスアクアスタジアムで 「税金クイズ」に挑戦

～親と子の税金教室2022～



▲大型ビジョンに映像を映して税金クイズを進行



▲会場には馬場委員(左)、曾我副委員長の声が響き渡りました



▲参加者はO×の書かれたうちわをかざして解答を示しました

30年以上続く八王子法人会伝統の租税教育事業、「親と子の税金教室」が祝日の11月3日、横浜・八景島シーパラダイスで開催されました。以前の目的地であった東京ディズニーリゾートへの団体訪問が諸事情から困難になる中、最近では担当の厚生委員会が、常に新たな会場を模索しながら企画しています。

早朝、貸切バスに分乗して八王子を出発した参加者は午前9時過ぎに八景島に到着。日中はイルカショーなどが行われる、シーパラダイス内の水族館、アクア・スタジアムをオープン前のひと時、八王子法人会の参加者だけで貸切り、設置された大型ビジョンに映像を投影しながら税金クイズが進められました。

クイズの作成と出題は社会貢献委員会が担当。アクア・スタジアム内では、イルカの着ぐるみをまとった、社会貢献委員会の馬場眞由美委員がビジョンの映像に合わせてクイズを出題。曾我益巳副委員長が各設問について、丁寧に解説をしました。クイズは、小学生に対する教育費として使われている税金や、身のまわりの公共施設の維持・管理に使われている税金など、身近なテーマを取り上げ、計12問が出題され、全てO×で回答する形式。参加者はO×の描かれたうちわを掲げて、自分の解答を示しました。



八王子いちよう祭りに出店

「税に関するアンケート」と「親子木工教室」で法人会活動をPR

国税庁「税を考える週間」(11月11日～17日)に協賛し、税と法人会活動を広くPRすることを目的に、11月19日・20日の両日、多摩御陵周辺で開催された「八王子いちよう祭り」に出店しました。

回答収集は、デジタル・アナログ併用で

出店の主体は広報委員会と青年部会。広報委員会では、消費税軽減税率や、今話題となっている防衛費の問題などをテーマに、「税に関するアンケート」を実施。主催者である祭典委員会から、各出店者に対して感染症対策の実施が求められる中、アンケート収集にあたっては、QRコードを活用して、来場者自身のスマートフォンで回答していただく方式を採用。一部、紙ベースによる回答も含め、2日間で1,300件を超える意見が集まりました。この結果については、後日、ホームページ等で公開するとともに、今後の八王子法人会の税制改正要望活動などに活かされることとなります。

整理券の配布で会場の“密”を回避

いっぽう、青年部会では、広報委員会が企画したアンケートの回収を進めるとともに、2日間で100組限定の「親子木工教室」を開催。こちら、感染症対策として会場の混雑を防ぐため、時間を明記した整理券の配布による完全予約制により進められました。青年部会役員のアドバイスのもと、参加した子供たちは慣れない手つきながら、一生懸命に金槌をたたき椅子を作製。親子の共同作業で組み立てた椅子に法人会マークの焼き印を押して、持ち帰っていただきました。



アンケートの回収には、アナログ（紙）とデジタル（スマホ回答）を併用しました



青年部会のブースでは、スタッフからアドバイスを聞きながら親子共同で木製の椅子を作製してもらいました



令和4年度（2022年度）

納税表彰 受彰者のご紹介

11月11日、いちようホールにおいて、八王子税務署長納税表彰式が行われ、長年にわたる法人会活動を通し、税務行政の発展に功労のあった方々に表彰状、感謝状が贈られました。併せて、国税庁長官感謝状、東京国税局長表彰状の伝達、披露も行われました。受彰者の皆さま、おめでとうございます。

東京国税局長表彰



清宮 仁 氏
(会 長)

八王子税務署長表彰状



相澤 均 氏
(常任理事)



黒澤 真一 氏
(理 事)



石井 省治 氏
(理 事)



小林千恵子 氏
(広報委員)

表彰状、感謝状を受けられた皆さま、
おめでとうございます

八王子税務署長感謝状



久保 英生 氏
(常任理事)



古里 恵二 氏
(理 事)



八木隆一郎 氏
(理 事)



持丸美登子 氏
(厚生副委員長)



山下力人 氏
(税制副委員長)



村田利夫 氏
(税制委員)



内野 徳昭 氏
(広報委員)

今回、八王子法人会から納税表彰を受彰したのは、東京国税局長表彰を受けた清宮会長をはじめ、八王子税務署長表彰状、同感謝状をあわせ、十二名でした。いずれの方々も、法人会の本部、地区、部会の役員として精力的に活動されています。このページでは、今回受彰された方々をご紹介させていただきます。

八王子法人会が“国税庁長官租税教育推進校等感謝状”をいただきました

八王子法人会が早い段階から租税教育関連事業に積極的に取り組んできたことが評価され、団体として“国税庁長官租税教育推進校等感謝状”が授与されました。

小学校租税教室への講師派遣や税に関する絵はがきコンクール、親子の税金教室などの事業を感染拡大後も開催手法に工夫を凝らしながら、途切れさすことなく継続してきたことなどが認められたものです。

感謝状は11月11日の納税表彰式当日、八王子税務署・阿久津署長より山本社会貢献委員長(副会長)に伝達されました。

笑顔で感謝状を手にする清宮会長(中央)と感謝状
伝達を行った八王子税務署・阿久津署長(右)
左は、租税教育を担当する山本社会貢献委員長



租税教育事業の開催実績に対し
高い評価をいただきました…



▲ 八王子法人会の数々の租税教育事業の積み重ねが高く評価されました

都の税務行政発展への功勞に対し 表彰状、感謝状が贈られました

都税の分野においても、税務行政への功勞に対する表彰が行われ、清宮会長に東京都主税局長表彰状、芦田常任理事に東京都八王子都税事務所長感謝状が贈られました。



清宮 仁氏
(会長)



芦田 春子氏
(常任理事)

2022年度 中学生「税の作文」

◆国税庁と納税貯蓄組合連合会が毎年募集している中学生の税の作文。八王子においては、今年も市内中学校から3,109点の作品が寄せられました。

◆11月21日には八王子市学園都市センターホールで優秀作品の表彰式が開催され、これに協賛している法人会では二作品を法人会長賞として表彰いたしました。ここでは、その受賞作二点をご紹介します。

公益社団法人八王子法人会長賞 受賞作

わたしの学び舎

八王子市立いずみの森義務教育学校
九年 白濱愛梨

私の通っているいずみの森義務教育学校は二十二年に新校舎になりました。理由として、学校施設の老朽化、及び学区内の宅地開発により児童・生徒数の増加が見込まれるため、整備されました。この費用、約十四億円は、市の税金によって負担されています。私は、税金でこのいずみの森義務教育学校を建設されたのだから、教育に使われている税金について、詳しく調べてみました。八王子市は、歳出総額の九・七パーセントが教育に使われています。これは、学校運営費や教育総務費、学校整備費があり、これらによって学校は運営しています。

私たちが今、通っているいずみの森義務教育学校。この学校も税金によって作られました。「中一ギャップ」防止などから、小中一貫校になりました。居心地の良い学校にしてくれたのも、税金のおかげです。感謝の気持ちを持って、これから、残り少ない学校生活で大事に使っていききたいと思います。

私たちが毎日食べる給食や、一人ずつ平等に配られる教材など、税金によって私たちのもとに届いています。あたり前のようにいつも食べたりに使っているのは、多くの人の努力によって、私たちは働かなくても無料で自分達のもとへ届くのです。私はこのことを知り、これからはもっと大切に使うように思いました。

また、「学びを止めない未来の教室」という経済産業省の思いから一人一台のタブレット・パソコンが配布されました。これらも税金によって買われたものだと分かりました。私たちは、さりげなく一人一人に配られたパソコンですが、こんなにも税金がかかっているとは思いませんでした。私は、さまざまなところで税金が使われているのだと感じました。

公益社団法人八王子法人会長賞 受賞作

年金と私たち

八王子市立松が谷中学校
三年 菱河咲良

「あなたたちが高齢者になる頃には年金がもらえなくなってしまうかもしれません。」

少子高齢化。私はその言葉をこの数年で学校の社会の授業やニュース、新聞などで頻りに耳にするようになった。また、学校の社会の授業では少子高齢化による日本の経済力の低下、農業従事者や伝統的工芸品の職人の高齢化や後継者不足などの問題が起きていることを学んだ。

そして、私が学校で少子高齢化のことを学んでいく中で興味を持ったものがある。それは、年金のことだ。なぜなら、少子高齢化についての内容の授業を受けていた時に、社会の先生が

「あなたたちが高齢者になる頃には年金がもらえなくなってしまうかもしれません。」

とおっしゃいとでも衝撃を受けたからだ。しかし、なぜ年金がもらえなくなってしまうのかよく分からなかった。そのため、私は年金について調べてみようと思った。

そもそも、なぜ少子高齢化が進むと年金がもらえなくなると言われるのだろうか。それは、年金と税金が密接に関係しているからだ。私たちは、二十歳になると年金保険に加入し年金保険料を六十歳になるまで支払う義務がある。そして、その年金保険料や国民が納めた税金を財源にして国が国民に年金を支給している。そのため、少子高齢化が進み現役世代が減ると年金保険料を負担する働き手が減り働き手の負担が重くなってしまいます。実際に、一九七〇年は高齢者一人に

このように、私たち公共学校の児童などにたくさんの税金が使われています。義務教育九年間、九百七十万八千円東京都が税金によって、負担をしてくれているのです。義務教育以外にも、高校や大学で奨学金が出る場合もあります。また、給食・教材・タブレットやパソコン・学校整備、これら以外にも修理代や実験器具など教育に使われている税金はたくさんあります。私たちは、税金によってより良い学校生活を送れていることが沢山あるのです。しかしこれは、親や周りの人の努力によって得られているお金です。そのことを忘れずに、感謝の気持ちを持って毎日を過ごしていきたいです。私も大人になったら、未来の子どもたちが平等に学べるように、税金のことについて理解し、協力していきたいです。また、税金によってたくさんの人が救えるよう、しっかりと勉強し、貢献していきたいと思っています。



菱河咲良さん(左) 白濱愛梨さんへ清宮会長から表彰状が授与されました

対して現役世代が約十人で支えていた。しかし、二〇六〇年になると高齢者一人に対して現役世代が約一人で支えなければいけなくなる予想されている。つまり、少子高齢化が進むと現役世代が減り高齢者を支えきれなくなってしまう。最悪の場合、年金がもらえなくなる日が出てしまうかもしれないのだ。

また、年金は高齢者だけがもらうイメージが強いが、重い病気や大きな怪我で働けなくなってしまうたり、一家の大黒柱が若くして亡くなってしまったらした場合にも年金をもらうことができる。しかし、もしも年金がなくなってしまうたらお金に困る人たちがたくさん増えていくだろう。

私は、年金のことを調べる前は少子高齢化や年金の問題はまだ少し遠い問題だと思っていた。しかし、年金のことを調べて少子高齢化はとても身近な問題で現在、子ども私たちのとも影響する問題だと思ふようになった。また、五年後の二十歳からは年金保険に入り国の現役世代として年金保険料を支払い高齢者を支えていかなければいけないことに強い責任を感じた。そして、今回、年金や税金について学ぶ機会があったので、一步日本の未来について考える私たちは年金や税金、少子高齢化についてよく知り考えていくことがとても大事だ。

その疑問、
チャットボットに
相談しませんか？

24時間利用可能

※メンテナンス期間を除きます。



スマホでのご利用は
こちらから▼



税務職員ふたば

2022.10.6 Thu. Start

年末調整

(令和4年分)

▼以下の項目についても公開中

**インボイス制度
所得税の確定申告**

(令和3年分)

パソコンでもご利用できます！

こちらで検索▼

国税庁 ふたば



国税庁 法人番号7000012050002

Step 1

相談内容を選択



Step 2

相談のしかたを選択

- ・メニューから選択
- ・文字で入力する



相談をすると…
答えがすぐに表示されます。

詳しい情報は、
参考情報のリンク🔗を
クリック

- ・チャットボットは、AI（人工知能）が自動で回答するウェブサービスです。国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp>）からご利用いただけます。
- ・画面は年末調整に関する相談のイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
- ・メンテナンス等によりご利用できない場合があります。

キラリ輝く！ 会員企業

NPO Fusion Nagaike
 特定非営利活動法人
 エヌピーオー・フュージョン長池

Vol 31

八王子市東由木地区の81ヶ所の公園管理業務を実施

特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池は、1999年に設立し、現在は「ひとまちみどり由木」として主に由木エリア東由木地区81ヶ所の公園の指定管理を業務として行っています。その内容は、公園の剪定、伐採、草刈りなどの緑地管理に加え、ゴミ拾い、トイレ掃除、遊具の点検、など安心して公園で過ごせるよう維持していく業務。また、イベントの開催やボランティア活動を地域の方々と一緒に行い、賑わいと潤いのあるまちづくりに貢献しています。



クールセンター八王子は「あったかホール」2階にあります



事務所は広々としており、自由に来訪できます 田所理事長 柳田さん

八王子市地球温暖化防止活動推進センターの運営をスタート

2022年4月からは、八王子市地球温暖化防止活動推進センター（通称：クールセンター八王子）の運営を八王子市から委託され業務をスタートしました。センターは全国に59か所あり、地球温暖化防止活動の普及啓発として、家庭や事業所、市内各施設へ省エネに関する講座やイベントを開催。また地球温暖化防止に関わる団体への活動支援などの事業を行っています。「法人の省エネの取り組みとして、LEDへの取り換えや空調工事の補助金の申請のお手伝いや、講座やイベントなどを通して家庭の省エネへの取り組みの啓発を行っています。是非お気軽にご連絡下さい。」（田所理事長）



入口には活動内容のご紹介 各種刊行物や催しなど様々な活動を行っています



イベントの様子

ひとまちみどり由木
 〒192-0363
 八王子市別所2-58 (長池公園自然館)
 TEL : 042-678-4616
 FAX : 042-678-4647
<https://www.h-yuji.org/>



クールセンター八王子
 〒192-0906
 八王子市北野町596-3
 八王子市北野環境学習センター (あったかホール) 2F
 TEL : 042-656-3103 FAX : 042-649-2118
<https://coolcenter802.net/>



法人会ではこのページに登場いただける会員企業を募集しています。業種は問いません。あなたの会社の前向きな取り組みや新しいチャレンジなどをぜひ、紹介させてください。詳しくは、法人会ホームページ (<https://www.hojinkai.or.jp>) をご覧ください。



▼今月の笑顔は、『株式会社戸田工務店』を訪問し、代表取締役の戸田弘文さん、戸田紀子さん、戸田琴華さんにお話を伺いました。

▼昭和6年、初代が宮大工の棟梁として寺、神社、能舞台、茶室、山車、一般住宅等を手掛け、3代目戸田弘文社長になり現在に至ります。

▼先代の2代目も大学を卒業後、大工として現場に入り一級建築士を取得。宮大工の伝統は一般住宅にも活かされ施工が丁寧と口コミでも広がっていきます。

▼3代目の戸田社長はそうした伝統や引き継がれているものを大切にしながら、宮大工の棟梁として仕事は口コミや紹介で依頼されるといいます。「主に八王子市内のお客様から多くご依頼を受けています。広告などは行っておらず、口コミや紹介で受注しています。在来工法で修繕、リフォーム、耐震工事など、私と職人で行っていきます。一般木造住宅の耐震工事などご依頼を受けることも増えてきました。在来工法の技術は取得に最低5年程度はかかりますので、技術の継承が難しくなっており、今後の課題となっています」(戸田社長)

▼表紙を飾っていただいた戸田琴華さんは大学2年生。見積作成や事務処理など担当しています。「祖母や母と連携を取り、パソコンで見積り作成や書類作成、役所関係の事務処理を手伝っています。小さいころから家族の仕事を見て育ってききましたので、仕事に関してはスムーズに進めています」(琴華さん)「SNSが必須となってきた現在は、娘(琴華さん)にお願いすることが多くなってきています」(紀子さん)

▼旅行と音楽が好きな琴華さん、「家族や友達と旅行に



代表取締役
一級建築士
とだ のりこ 戸田 紀子さん
とだ ひろふみ 戸田 弘文さん
とだ こほ 戸田 琴華さん

行きます。今シーズンは友達とスノボやスキーに行きたいですね。家族ではよく京都に旅行に行きます。清水寺の清水坂が大好きなスポットで、京都に来たと感じる瞬間です。音楽は、映画やドラマなどに流れるサウンドトラックを就寝前に聴いています」(琴華さん)

▼お祭りや落語などの八王子のイベントなどで司会もこなす琴華さん、「司会をお願いすると快く引き受けてくれるので助かっています」(戸田社長) 地元を愛する戸田さんご一家は、行事や催しなどにも多く携わり、八王子を元気に盛り上げています。

〒192-0056
八王子市追分町21-7
電話：042-622-3804 FAX：042-622-3845
E-mail：toda-koumuten@nifty.com

「e-Tax」なら国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きがインターネットで行えます。

国税電子申告・納税システム

e-Tax

納税には
ダイレクト納付が便利です!



e-Taxを利用して所得税及び復興特別所得税の申告を
するとこんなメリットが!

添付書類の提出省略(注)

還付がスピーディー

ご利用に際し条件、注意事項があります。
詳しくはホームページでご確認ください。

イータックス



e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

※事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。※届出書の提出から利用可能となるまで、1か月程度かかります。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

発行者	公益社団法人	八王子法人会	会長	清宮 仁	発行日	令和4年12月5日
編集者	公益社団法人	八王子法人会	広報委員長	小林 仁	印刷	スズキ美術印刷(株)
発行所	公益社団法人	八王子法人会	東京都八王子市大横町14-25			東京都八王子市南町9-8
第47巻	第9号	通巻505号	電話(042)625-4875(代)	FAX(042)625-0566		電話(042)626-2600(代)

アカガシ

写真・資料提供

菱山忠三郎氏

高尾山の南斜面には常緑の木々が多い。とくに目につくのはカシ類で、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、ツクバネガシなどである。いずれも樹高は20メートルぐらいいなるのでカシ類の多い林の内はやや暗くなる。ここにあげたカシ類はいずれもポピュラーなものであるが、高尾山ではよく見られてもその周辺部では割合、見ることが少ないのはアカガシである。

アカガシはカシ類のなかでも葉面はかなり厚みがあり、とくにごわごわする。葉面は緑色が濃く、光沢がある。雄花は花穂になって垂れ下

がる。雌花は上部の葉液につき、直立して2〜5個つく。堅果（どんぐり）は楕円形で長さ2センチほどあり、褐色に熟す。花は5月ごろ開花し、堅果は翌年の10月ごろ成熟する。なお、先にながたなかでウラジロガシ、アカガシ、ツクバネガシは2年目の成熟である。アラカシ、シラカシは今年中に熟す。材は床柱などの建築材とされ、その他、材が堅くて利用度が高いことからアカガシは剣道の木刀に使われる。

樹皮は成木になると緑色を帯びた灰黒褐色で、そのはがれが目立つようになる特徴がある。和名は材の色による。



身近な自然環境を大切に



法人会

なお、本種とツクバネガシとの雑種が知られており、ツクバネガシより葉が大形で、葉柄が長く、葉の先に少数の鋸歯がある。オオツクバネガシといい、高尾山で最初に気づかれたことにより、学名にタカオヤメンススがつく。

